

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成30年度】

10 病児(病後児)保育事業

事業概要	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業
事業目的 (目指すべき目標)	感染症の発症等により一時的に保育所等を利用できない病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等することにより、就労する保護者等のニーズに対応する。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	市内の小児科医師の人数、財政負担、国の補助額等の課題に対する対応方策や保護者ニーズに対応できる事業の在り方について検討

事業費(円)		平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 予算	平成30年度 決算	平成31年度 予算	
	事業費						4,275,000	
	特定 財源	国庫支出金						1,425,000
		道支出金						1,425,000
		その他						
一般財源						1,425,000		

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 見込み
	実施施設数	か所					1
【特記事項】							

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 見込み
	延利用人数	人					300
【特記事項】							

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	年:延べ利用人数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	需要量の見込み(人)	300	300	300	300	300
★事業計画策定済み★	確保方策(人)	実施体制を検討し、条件整備が完了後、実施を判断する。				
	実績(人)					

【事業評価】							
A: 事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B: 事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。 C: 事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。							
事業実施者による事業評価							
小樽市子ども・子育て会議における事業評価							

<確保方策> 事業計画から抜粋	本市における病児(病後児)事業については、市内の小児科の医師が少ないこと、事業実施施設の整備には相応の財政負担を伴うこと、運営に関する国の補助が低額であることなどが課題となっています。これらの課題に対する対応方策や保護者のニーズに対応できる事業の在り方について引き続き検討します。
--------------------	--

◆平成30年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)

平成30年度においては、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)で病児(病後児)の預かりを行い、病児(病後児)保育のニーズの一部を補うことができた。
なお、平成31年度から、認定こども園いなほ幼稚園が病児保育施設を整備し、本事業を開始することとなり、施設整備や事業内容について、同園と協議検討を行った。

◆平成31年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)

令和元年10月から、市の補助事業として、認定こども園いなほ幼稚園が病児保育事業を開始し、保育を必要とする病児、保護者へのニーズに対応する。